

# 民主化闘争情報

No. 922

2015年3月17日  
発行 日本鉄道労働組合連合会  
(JR連合)

安全確立と信頼回復にむけて職場規律の再構築などに一丸で取り組んでいるはずのJR北海道。しかし、JR総連・JR北海道労組の過度な政治活動に困惑する組合員の声が増えつつある。職場の更衣室などで半ば強制的に「後援会に入れ」、「カンパしろ」と迫っているという。「直接業務に関係ないことに時間をとられてしまう」、「政治活動が一番で、労働条件の改善は二の次」などと組合員は困惑しているようだ。

## これがJR総連・JR北海道労組の実態！？(vol.4) 職場内、勤務時間内に政治活動！？ 「後援会に入れ」、「カンパしろ」と強要！？

JR総連・JR北海道労組の過度ともいえる政治活動の一端を所属組合員の証言をもとにマスコミが批判的に報じている。

(ナレーター) JR北海道労組の幹部が、社内で禁止されている職場での政治活動を行っていたという。

(JR北海道労組組合員) 「後援会にまず入れ」「カンパしろ」半ば強制的に  
・・・僕も無理やり払わされた。

(ナレーター) 直接業務に関係のないことに時間をとられてしまうという、現役社員。民主党の参議院議員 田城郁議員、一口500円から加入できるという内容だった。職場の更衣室などで後援会の宣伝や会費の徴収が行われていたという。  
(北海道テレビ放送)

「私は一番多数の労働組合に所属しています。正直、異常な組織だと入社時から感じています。政治問題が一番で、労働条件の改善は二の次です。反発や組合の方針と違う意見を言えば、徹底的に職場に訪ねてきたりと攻撃されます。だから、皆やりたくなくても活動に参加している人が大半です。

(UHB北海道文化放送)

政治活動は本来、自主的、民主的に行うべきものである。本人の意思を尊重することなく半ば強制的に、しかも勤務時間内に職場内で行われることが、果たして正当な政治活動と言えるのであろうか？そして就業規則等を逸脱する行為が黙認されれば、確立が急務のはずの職場規律は崩壊していく。

**JR総連・JR北海道労組の組織運営に疑義を抱いている皆さん  
安心できる職場の構築にむけて、JR連合・JR北労組に結集しよう！**